

第36期 年次報告書

2022年3月1日～2023年2月28日

証券コード 9381

マレーシア クラン港

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、ここに第36期(2023年2月期)の連結業績についてご報告を申し上げます。

第36期(2023年2月期)の連結業績について

昨年4月及び5月の2カ月間は、上海でのロックダウンにより一時的にサプライチェーンに混乱が生じ、物流機能が低下する等の難しい一面もありましたが、安定的に国際貨物の輸送が行えるよう尽力してまいりました。

また、当社グループの軸となる海上輸送では、北米や東南アジア航路で運賃水準が下落し、さらに取扱量の多い中国航路でも2022年の秋口頃から一部航路で下落傾向にあります。しかしながら、未だコロナ前の運賃水準よりも高く、また円安が続く中で多くの荷主は物流コストが重荷となっています。国際物流の提案型営業を行う当社グループは、この状況を収益拡大に向けての大きな好機と捉え、新規顧客の獲得と既存顧客の取引深耕に取り組み、一貫輸送の更なる受注獲得を目指して精力的に営業活動を展開してまいりました。そして、円安の環境が続く中で、日本からの輸出貨物の集荷にも注力してまいりました。

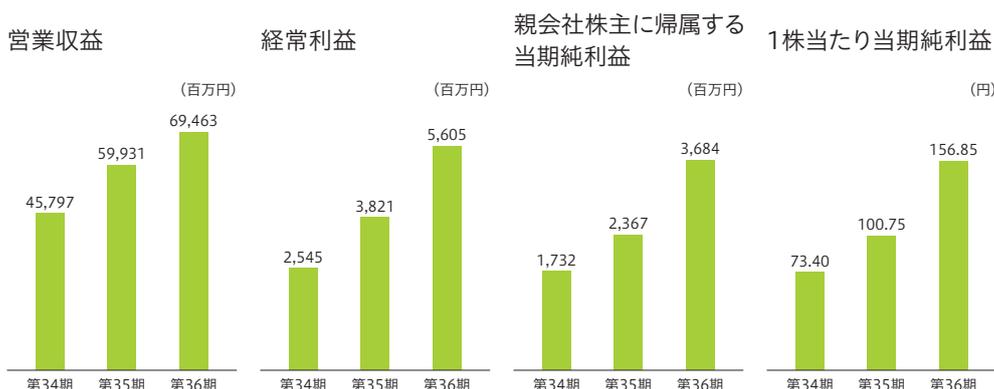
序盤の上海でのロックダウンの影響と中盤以降は円安進行により一部の顧客で輸入を控える動きもあり、コンテナの取扱量並びに通関受注は前年同期と比較して減少しました。しかしながら、前連結会計年度と比較し、海上運賃が高い水準で推移したことに加え、円安進行が収益拡大の更なる追い風となり、物量等の減少による収益の低下要因を十分に補うことができました。また、DXへの取組みにも継続して注力する等して業務の効率化を推進し、可能な限りの販売費及び一般管理費の抑制にも努め、利益の創出を図ってまいりました。

これらの結果、当連結会計年度における営業収益は69,463百万円(前年同期比15.9%増)と前年同期を大きく上回りました。また、営業収益が好調に推移したことにより、営業利益は5,288百万円(前年同期比47.7%増)、経常利益は5,605百万円(前年同期比46.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,684百万円(前年同期比55.7%増)といずれも前年同期を大幅に上回ることができました。



代表取締役社長 矢倉 英一

業績ハイライト



第37期通期業績予想(連結)

営業収益	70,000 百万円	前年同期比 0.8%増
営業利益	5,300 百万円	前年同期比 0.2%増
経常利益	5,620 百万円	前年同期比 0.3%増
親会社株主に帰属する当期純利益	3,700 百万円	前年同期比 0.4%増

増配のお知らせ

配当による利益還元を推し進めるため、2022年10月12日付の適時開示でご案内の通り、2023年2月期の期末配当は1株当たり50円とさせていただきます。

今後も持続的な企業価値向上を通じて、安定的且つ継続的な配当額の向上に努めることで、株主の皆様のご期待にお応えしてまいります。

	(円)			
	年度	中間	期末	年間配当金
第32期(2019年2月期)		18	18	36
第33期(2020年2月期)		18	18	36
第34期(2021年2月期)		18	20	38
第35期(2022年2月期)		22	36	58
第36期(2023年2月期)		30	50	80

海上貨物の市況について

全体の市況感としては、2022年前半までは海上貨物の荷動き・運賃とも高水準を維持しておりましたが、2022年11月を境に、海上貨物の市況は急激な減速に見舞われております。

荷動き面では、コロナ需要の反動による荷主各社の販売不振や、在庫過多による調整が主な要因として挙げられます。また、歴史的な高水準を維持していた運賃面については、運賃が上昇したコロナ前の状況まで戻っており、中にはコロナ前の運賃水準以下まで下落している航路も出てきております。運賃水準の下落がいつまで続くかは船会社各社とも見通せない状況ですが、過去数十年間に渡って値上げができなかった海上運賃を、コロナ禍を契機に値上げできたという経験は船会社各社にとって大きく、どこかで需給バランスが崩れた際に、再度、運賃上昇局面が到来する可能性もあります。

当社事業のメインとなる日中間の市況についても、全体の市況感と同じ傾向ではありますが、一方で、上海/寧波/太倉を中心とする華東エリアは、中国全土の中で一番安定したエリアになっており、コロナで上昇した運賃水準と同じ水準が継続しております。

このように海上貨物の市況感先行き不透明な状況ではありますが、当社としましては、様々な施策を実施して企業価値の向上に努めてまいります。

引き続き、株主の皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



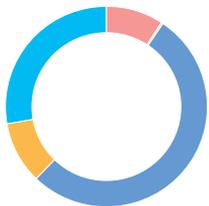
株式に関する情報

(2023年2月28日現在)

発行可能株式総数 53,856,000株
発行済株式総数 23,913,600株(自己株式420,008株を含む)
株主数 14,007名

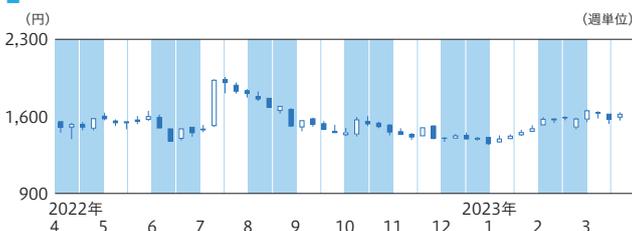
所有者別株式分布状況

(2023年2月28日現在)



金融機関	9.21%
金融商品取引業者	0.30%
その他の法人	52.95%
外国法人等	9.81%
個人・その他	27.73%

株価動向



会社概要

(2023年2月28日現在)

社名 株式会社エーアイティー
英文社名 AIT CORPORATION
本社 〒541-0053
大阪市中央区本町2丁目1番6号
堺筋本町センタービル15階
TEL.06-6260-3450(代表)
設立 1988年2月
資本金 271,140,311円
従業員数 1,152名(連結)、274名(単体)
事業内容 貨物利用運送事業(外航海運・国際航空貨物・貨物自動車・鉄道・内航)、航空運送代理店業、通関業、倉庫業、海運仲立業、損害保険代理店業、コンテナその他輸送器具の販売並びに輸出入、上記に付帯関連する一切の事業

取締役及び監査役

(2023年5月23日現在)

代表取締役社長	矢倉 英一	社外取締役	神宮 司 孝
常務取締役	馬上 真一	社外取締役	成田 彦 一郎
取締役	大槻 信夫	社外取締役	濱田 敏 彰
取締役	川 峯 寛	常勤監査役	倉本 基 洋
取締役	久 林 融	社外監査役	西島 佳 男
		社外監査役	三村 淳 司